

科 目	人々の暮らしと健康				
時間数	1単位 15 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	①高橋美由紀				
実務経験	①保健師(在宅介護支援センター等)				
ねらい	地域にはどのような人が暮らし、どのような看護を必要としているのか。地域で暮らすにはたった一人では暮らせない。家族や隣人、さまざまな役割を持つ人たちがその人の暮らしを支えている。本科目では、地域にはどのような人が暮らし、その暮らしはどのようにして支えられているのか、フォーマル、インフォーマルの視点でとらえていく。そして、地域・在宅で多職種と協働するなかで、看護師に求められる役割について考える。				
目 標	1. 地域の多様な特性が、そこに暮らす人々の健康に影響していることを理解する。 2. 地域・在宅看護の対象者の各ライフステージの特徴とその多様性を理解する。 3. 地域・在宅看護の対象者は、さまざまな健康レベルにあることを理解する。 4. 地域・在宅看護の対象である家族について、基本的な理解ができるようにする。 5. 対象者を深く理解することが、地域・在宅看護の実践にどのように結びつくのかを学ぶ。 6. 地域・在宅看護の場を人々の暮らしと結び付けて考え、病院などの医療機関だけでなく、さまざまな看護実践の場があることを学ぶ。 7. さまざまな暮らしの場における看護の役割と活動を理解する。 8. 地域・在宅看護実践の場で、看護師とともに連携して働く医療福祉専門職の役割を理解する。 9. 多職種で連携するなかで、看護師に求められる役割について考える。				
授業計画					
回	内容				
1	地域・在宅看護の対象者、家族の理解				
2	地域包括ケアシステムと今後の課題や方向性				
3	暮らしを支える地域・在宅看護、暮らしの環境を整える看護				
4	地域・在宅看護実践の場と連携				
5	地域・在宅看護実践の場と連携 多職種との連携・協働を考える				
6	地域ケアの実際を知る 地域ケアネットワーク推進会議、介護予防ケアマネジメント(デイサービス) 見学①				
7	地域ケアの実際を知る 地域ケアネットワーク推進会議、介護予防ケアマネジメント(デイサービス) 見学②				
8	学習のまとめ				
評価方法	学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する 60 点以上を及第点とする。				
教科書	地域・在宅看護論の基礎:医学書院 3章、5章 社会学:医学書院 医療概論:医学書院				